



学校
だより

トベラの木

葛城市立新庄北小学校
NO. 6
令和5年12月21日
発行者 校長 杉村茂美

寒風に負けず、元気に2学期の締めくくりを！

12月に入り、二十四節気の一つ「大雪（たいせつ）」（雪が盛んに降り出す頃）を迎えても、温かい日が続いていましたが、今週は一転して気温が低く風も冷たい冬空に覆われています。今朝は、葛城山もうっすらと白くなっていました。登校してくる子どもたちからも、「校長先生、今日は雪が降ってる！！」という声が聞かれました。

小学校では2学期の締めくくりとして、各学級で学習や生活の振り返りをしました。熱中症対策に気を配った始業式（8月28日）からの4ヶ月間、学校行事の多い2学期は、様々な学習や体験を通して、個々の力はもちろん、学級や学年・集団としての力を育む毎日の連続だったように感じます。季節が夏から秋へ、そして冬へと移ろいでいく間に、子どもたちの成長も、太陽の光をいっぱい浴びて満開の花を咲かせ、実りと収穫の秋を経て、今からは次の活動にむけてエネルギーをしっかりと蓄えていく時期になります。保護者の皆様には、引き続き、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

今年、正門横のトベラの木にも赤い種がたくさんついていました。トベラの木は5月頃に白い花が咲き、やがて実が実ります。実が熟すと割れて赤い種ができます。毎朝子どもたちを出迎えながら、トベラの木と子どもたちが成長する姿とが重なり、大変うれしい気持ちになりました。



【白い花が咲く】



【白い実が実る】



【実が熟し赤い種ができる】

個人懇談、ありがとうございました

15日から20日の期間、年末のお忙しい中、個人懇談にお越しいただきありがとうございました。共有させていただいたお話は、更なる飛躍にむけて、3学期の学校生活に活かしていきたいと思っております。是非、お家でもお子様の成長を褒めてあげてください。

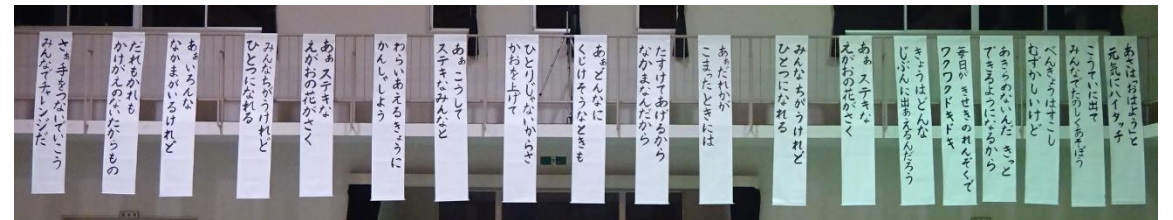


☆2学期の学校生活（11月・12月分）の様子を、本号（6号）と次号（7号）にて紹介します。

芸術の秋 音楽で心を一つに（11月3日）



休日参観の日に、校内音楽会を実施しました。当日は、大勢の保護者の方々に見守られ、会場全体が一体感に包まれました。歌声や音を合わせることは、相手の音や鼓動を感じながら心を合わせることに他なりません。子どもたちは音楽を通じて、また新たな発見や学びがあり、文字通り「音を楽しむ」時間を満喫することができたようでした。保護者の方からも、「短い時間だったけれど、温かくさせてくれた。ありがとう。」とメッセージをもらい、達成感を味わうことができ、誇らしげな様子でした。

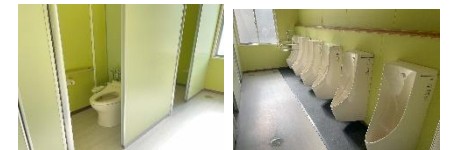


【児童の感想より】



- テンポが速いのに、すごいなあと思った。
- 他の学年の演奏で緊張がほぐれ、最高だった。
- 泣けるくらいすごい合唱・演奏を聴けてうれしかった。
- 保護者の方がいて緊張したけれど、力に替えて成果を出すことができました。
- 一人一人の思いが詰まっていて、保護者の方に感謝を伝えられて良かった。

北館トイレがピカピカに



1学期の後半から、北館トイレの改修工事をしていただいていたのですが、10月末に工事が無事終了し、11月より真新しいピカピカのトイレが使用できるようになりました。これで、学校全体のトイレが洋式化（一箇所のみ和式を残しています）されたこととなります。

学校生活にとって、トイレは大変重要な場所です。明るく清潔なトイレは、健康面でも子どもたちの支えになります。皆で使うトイレを、きれいなまま気持ちよく使用していきたいものです。次に使う人の事を考えて行動できる子どもたちであるよう、心もピカピカに磨いていきたいと思っております。